物理学専攻会議議事録

日時　　平成１６年　２月１２日（木）午後１３:００より
場所　　理学部４号館１３２０号室

出席者：８２名
物　理：大塚専攻主任、坪野専攻副主任、酒井（広）、早野、櫻井、内田、牧島、
長谷川、桑島、柳田、初田、須藤、佐野、常行、酒井（英）、蓑輪、江口、
能瀬、村尾、福山、高瀬、岡本、青木、小林（孝）、松尾、小形、山本(智)、
相原
原核セ：下浦、井手口、浜垣、上坂、片山
物性研：柿崎、秋山、木下、末元、上床、榊原、杉野、家、上田、中村、小森
宇宙線：中畑、瀧田、森（正）、大橋、黒田、鈴木、久野
総合文：小牧、吉岡、国場、柴田、風間、太田、米谷、川戸、陶山、加藤
新領域：高瀬、江尻
素粒子：坂本、川本、真下、小林（富）
生産研：半場、羽田野
高エネ：杉本、山本（明）、宮武、西山、徳宿、
ビックバン：川崎
宇宙研：満田、山崎、中川、井上
理　研：本林、後藤（彰）
医学系：宮下

議事に先立ち、専攻主任より、大学院担当になられた本林透教授（平成１５年１０月１日付：理研）の紹介があり、ご挨拶があった。

［報告事項］

１．　教務関係

１）　学生報告事項
配布資料に基づき学生異動の報告があった
２）　年末日程について、資料の通り書類の提出期限の確認があった。
３）　専攻主任より､配布資料に基づき理学系研究科の転研究科内規（案）について報告があった。

4） 専攻主任より、修士課程修了者を研究生に受け入れる件について提案があった。「研究生」は研究のための期間であり、転身のための準備期間とするのは本来の趣旨とは違うという意見があったが、修論を不合格にするより教育的配慮で、期間を１年間と定めて始め、弊害があれば又検討するということで、試行的に修士研究生の受入を始めることにした。

［博士論文について］

１． 専攻主任より、平成 16 年度 4 月移項に提出される博士論文は本製本とすることが提案され承認された。

２． 修業年限特例の学位論文の審査について
修業年限特例による学位論文提出について、配布資料に基づき指導教官須藤助教授とサポート教官川崎教授から説明があり、審議の上学位論文の提出が認められた。
専攻主任より選出された審査委員についても承認された。

３． 学位論文の審査について
博士学位申請者提出の論文について専攻主任から、配布資料[理系委員会にて合格報告済みである課程博士２名]に基づき申審査の結果及び申請者の経歴等について報告があった。

４． 学位論文審査委員の選定について
専攻主任より、配布資料に基づき課程博士３名に対する学位論文審査委員候補者の選出について提案があり承認された。

５． 学位論文審査委員の変更について
専攻主任により、配布資料に基づき、博士論文３月定期修了者２名の審査委員候補者について、山本教授の怪我により審査委員を変更せざるを得ない事情の説明があり承認された。

６． 博士課程 3 月修了予定者の決定
配布資料の通り、A～F のグループに分かれパラレルセッションを行い、平成 15 年度博士課程 3 月修了予定者の決定がなされた。

［修士論文について］

７．　修士課程修了予定者の決定
専攻主任より、配布資料に基づき、平成 15 年度修士課程修了者の決定の提案があり、承認された。

［博士課程入試について］

８．　平成１６年度博士課程入試について
博士入試実施委員長より、平成１６年２月９日（月）に行なった博士課程入試について入学内定者の提案があり、委員会で決定した 5 名については承認された。その後、榊原教授より追加合格が求められ審議されたが却下された。

９．　博士課程指導教官変更の覚書について
博士課程在学中に指導教官の退官を控えている学生の博士進学に関しては、覚書を交わしておくこととする。

［平成 16 年度修士課程入試について］

１０．平成 16 年度修士課程入学内定者の指導教官決定について
専攻主任より、配布資料に基づき、未定だった分も含めて平成 16 年度修士課程入学内定者の指導教官の確認があり承認された。

１１．平成１６年度修士入試について
専攻主任より、１１月７日現在で１２名の辞退者が出されたことの報告があった。

［平成 17 年度修士入試について］

１２．専攻主任より、平成 17 年度修士課程学生募集要項の確認があり承認された。

１３．専攻主任より、配布資料に基づき、平成 17 年度修士課程の入試日程について確認があり承認された。

１４．入試方法の改善について
専攻主任より、配布資料に基づき物理学専攻修士課程入学試験における筆記試験の方法・チェック体制について変更点の確認された。
筆記試験の内容・問題は６問作成し、第１～３問は必修とし、第４～６問から１問を選

択することにした。
配点、時間に関しての確認を行なった。

１５．平成 18 年度入試から TOEFL 化について
副専攻主任より、配布資料に基づき理学系での TOEFL 化の傾向について説明があった。しかし、物理では物理専攻独自の英語の試験を行なってきている経緯もあるという意見が出された。

［人事関係］

１６．専攻主任より、配布資料に基づき平成１６年４月からの流動講座による大学院担当教官２名の報告があった。

１７．大学院担当教官の選定について
配布資料に基づき、２名の大学院担当教官の提案があり、素粒子センター・山下了助教授に付いて小林（富）教授より、宇宙線研・佐川宏行助教授について中畑教授より説明があり承認された。

１８．教官のサブコース変更について
専攻主任より、教官のサブコース変更について配布資料の通り、変更する手順について提案があり、今後の検討課題とした。

１９．平成 16 年度の専攻役務分担について
（１）次期副専攻主任について投票が行なわれ、山本智教授が選出された。
（２）専攻主任より、配布資料に基づき、次期サブコース主任について提案があり承認された。
（３）専攻主任より、配布資料に基づき、次期教務委員について提案があり承認された。
（４）専攻主任より、配布資料に基づき、次期奨学委員について提案があり承認された。
（５）専攻主任より、配布資料に基づき、次期就職担当委員について提案があり承認された。

［その他］

２０．就職担当・長谷川助教授より配布資料に基づき就職内定状況の報告があった。

２１．江口教授より、奨学金（育英会）の変更について説明があった。

２２．専攻主任より、専攻会議事務局費を徴収する旨お願いがあった。
各部局ごとに常置委員会に持参してもらうことにした。